

「国宝」から 読み解く 中国近現代史

東京女子大学杉並区内大学公開講座

中国西南部の山岳地帯に生息する珍獣「パンダ」や、台北の「國立故宮博物院」に収蔵されている文化財は、ときに中国の「国宝」と呼ばれることがあります。しかし、歴史的経緯を見ると、これらが「中国」という国家を象徴するようになり始めたのは20世紀前半の中華民国期です。その中華民国の中国国民党政府は、第二次大戦後に内戦に敗れて台湾に撤退し、大陸に成立した中華人民共和国と分断国家問題を争うこととなります。さらに台湾は1990年代には民主化を遂げます。このような変動の中、「パンダ」や「故宮博物院の文化財」はいったいどの国家を象徴しているのか、という問題は、時に政治・外交上の争点となってきました。本講座では、これら「国宝」をめぐる政治を中心に、中国近現代史の一断面をお示しできればと考えています。

講師

家永 真幸

東京女子大学准教授

2019年度
後期「全6回」各回・火曜日
10:55~12:25

10月

1日 | 8日 | 15日 | 29日

11月

5日 | 12日

受講料 1,000円
(全6回分。第1回受講時に会場受付でお支払いください。)

定員 150名
(申し込み多数の場合は抽選となる場合があります。)

対象 原則として18歳以上の杉並区在住・在勤・在学の方

申し込み方法 往復ハガキ(1人1枚)に「杉並区内大学公開講座」と明記し、住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号・返信用の宛先を書いて9月19日(木)[必着]までにお申し込みください。
※在勤・在学の場合は、その旨を明記してください。

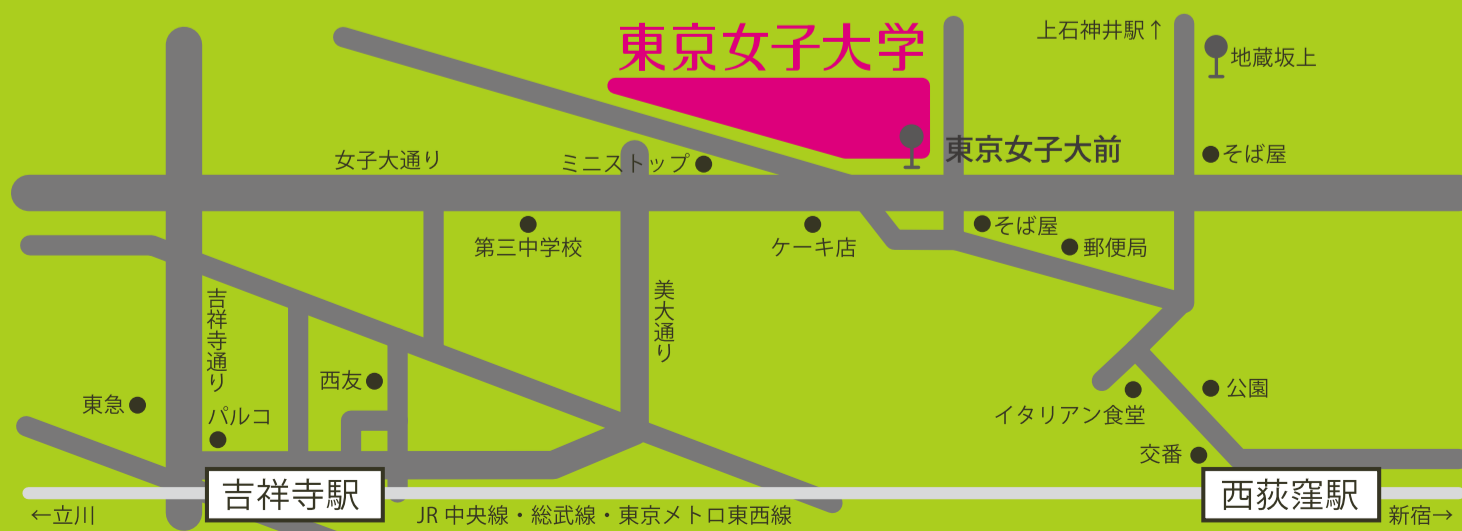
申し込み先 〒167-8585 杉並区善福寺2-6-1
東京女子大学教育研究支援課へ

お問い合わせ 東京女子大学教育研究支援課 TEL.03-5382-6470

Tokyo Woman's Christian University

東京女子大学

〒167-8585 杉並区善福寺2-6-1



共催 杉並区教育委員会

JR 中央線西荻窪駅下車 12分 バス利用のときは北口より吉祥寺駅行で東京女子大前下車